

一体型LEDベースライト iDシリーズ 非常用照明器具（電源別置型）

適合ライトバー	品番
6900 lm タイプ	NNL (H) 4605GN
5200 lm タイプ	NNL (H) 4505GN
4000 lm タイプ	NNL (H) 4405GN
3200 lm タイプ	NNL (H) 4305GN
2500 lm タイプ	NNL (H) 4205GN
2000 lm タイプ	NNL (H) 4105GN

適合器具本体	品番
DスタイルW230	NNLG (H) 48623
反射笠付型W150	NNLG (H) 48617J

- ・上記（ ）内は加工品番です。以降、加工品番の記載を省略します。
- ・本照明器具は、パナソニック製非常用照明器具本体と非常用照明器具ライトバーの組み合わせで性能を満足します。
- ・適合器具本体と適合ライトバーの組み合わせは、承認図・カタログを参照してください。
- ・適合器具本体と適合ライトバーは、非常用照明器具専用です。
常用照明器具の器具本体、ライトバーとの組み合わせはできません。

（一般屋内用） ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

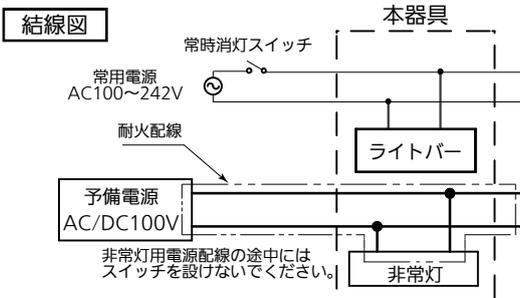
安全に関するご注意

⚠ 警告

- ライトバーを単独で使用しない。必ずパナソニック製非常用照明器具本体（以降、本体）と非常用照明器具ライトバー（以降、ライトバー）の組み合わせで使用すること。
- 施工は、施工説明にしたがい確実にこなす。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーのカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 非常光源部のレンズはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- 水平天井取付専用です。他の取り付けはしないでください。落下の原因となります。
- 非常点灯用回路の途中にスイッチを設けない。非常点灯しない原因となります。

⚠ 注意

- この器具は一般屋内専用です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所、粉じんの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 外の風が直接当たる場所では使用しないでください。落下・破損の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用するとう火災や非常点灯しない原因となります。
- 一般屋内でご使用の場合でも、器具周辺に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。（一部の食品や薬品・紙類また、車の排気ガスには硫黄成分が含まれます。）
光学性能に影響を与える場合があります。
- ライトバーのカバーはポリカーボネート製のため、直射日光の当たる場所や蛍光灯が近接する場所などの紫外線の多い場所、ヘキサンやアセトンなどの有機溶剤が使用される場所では使用しないでください。カバーの劣化・破損の原因となります。
- この器具の電源配線は下図を参照してください。



- ・非常灯用配線は耐火処理を行うか、耐火電線をご使用ください。また、電線はφ1.6、φ2.0の単線をご使用ください。より線は使用できません。
- ・非常灯部には専用電源を接続してください。常用電源に接続し、常時点灯で使用すると、火災や非常点灯しない原因となります。
- ・非常灯用回路の途中にスイッチを設けないでください。非常点灯しない原因となります。

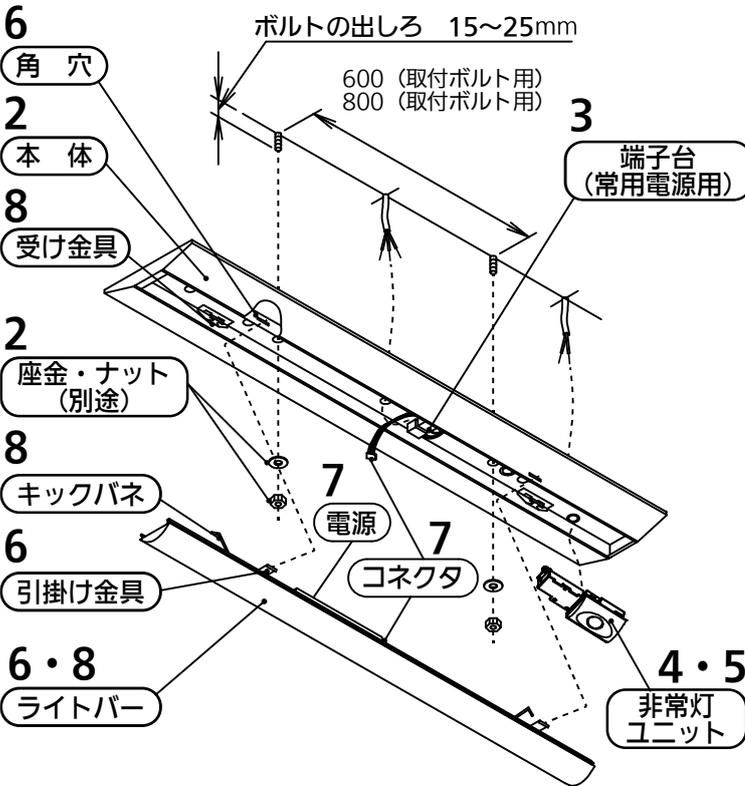
- 電源方式により騒音（うなり）が大きくなる場合がありますので、以下の配線を行ってください。（常用電源部）
 - ・三相電源を使用する場合は、必ず接地極を器具の端子台のN側に接続してください。
 - ・電源と器具間に片切りスイッチを設ける場合は、必ず非接地側（赤線回路）に取り付けてください。
- エンド面には電源穴がありませんので、電源線の器具間送り配線は天井裏に電源線を戻して配線してください。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

各部のなまえと取り付け方法

警告

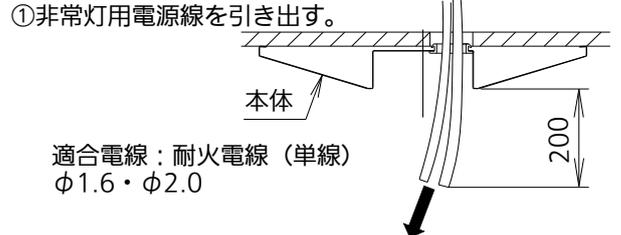
施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
 施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
 ライトバーの取り付け・取り外しは必ず電源を切る。

【NNLG48623+ライトバーの例で説明しています。】

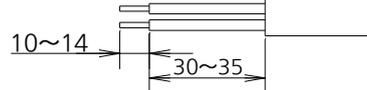


4.非常灯ユニットの接続（耐火電線の場合）

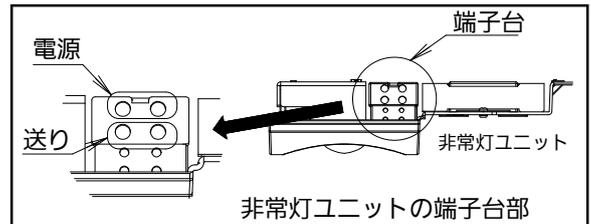
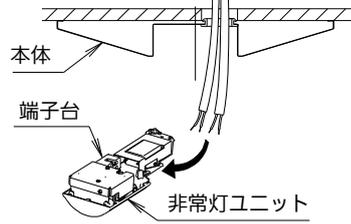
- 非常灯用電源線（耐火電線）を非常灯ユニットの端子台に確実に差し込む。
- 端子台の最大送り容量は20Aです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。



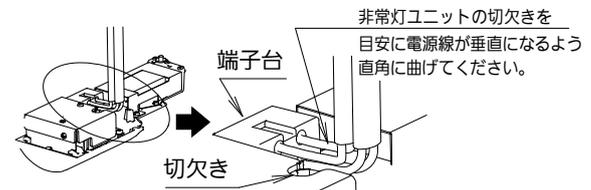
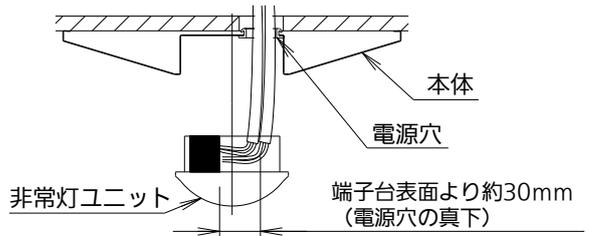
②非常灯用電源線の先端を下図のように加工する。



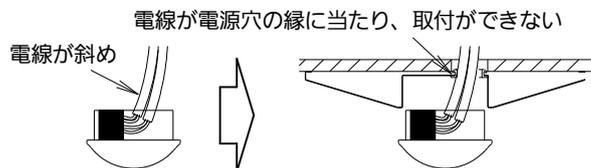
③非常灯用電源線を非常灯ユニットの端子台に接続する。



④非常灯用電源線を直角に曲げて、本体の電源穴直下で垂直になるように位置を整える。



- （注意）
- 非常灯用電源線と送り用の耐火電線をあわせて電源穴に通す場合、ねじれなきこと。電源穴に干渉し、非常灯ユニットが正常に取付できません。
 - 非常灯用電源線が非常灯ユニットに対して、直角になっていない場合、非常用電源線の位置を直角に調整してください。電源線が電源穴に干渉し非常灯ユニットが正常に取付できません。



1.取付前の確認

- 既設器具取替の場合、周辺機器の電気容量を確認する。
- 器具質量（2.7Kg:NNLG48623+ライトバーの場合）に十分に耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。（取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。）
不備があると器具落下・感電・火災の原因となります。

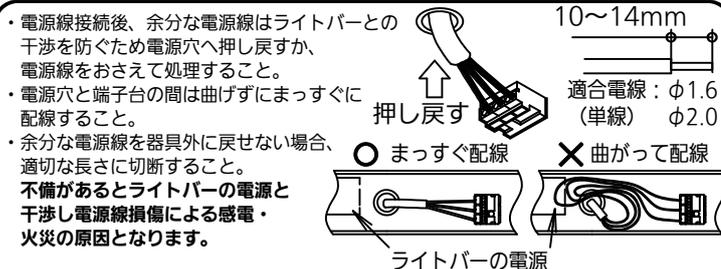
2.本体の取付

- 電源線、アース線、非常灯用電源線を本体の電源穴から引き込んでおく。
- 本体を取り付けナット・座金で確実に取り付ける。（取付ナット推奨トルク値：1.5N・m）
不備があると器具落下の原因となります。

3.常用照明（ライトバー）の電源線・アース線の接続

- 電源線、アース線を下図に従って端子台に確実に差し込む。
- D種（第3種）接地工事が必要。
- 端子台の最大送り容量は右表のとおりです。
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、火災の原因となります。

	明るさタイプ	容量
40形	6900lmタイプ	12A
	5200lmタイプ	13A
	4000lmタイプ	14A
	3200lmタイプ	20A
	2500lmタイプ	20A
	2000lmタイプ	20A



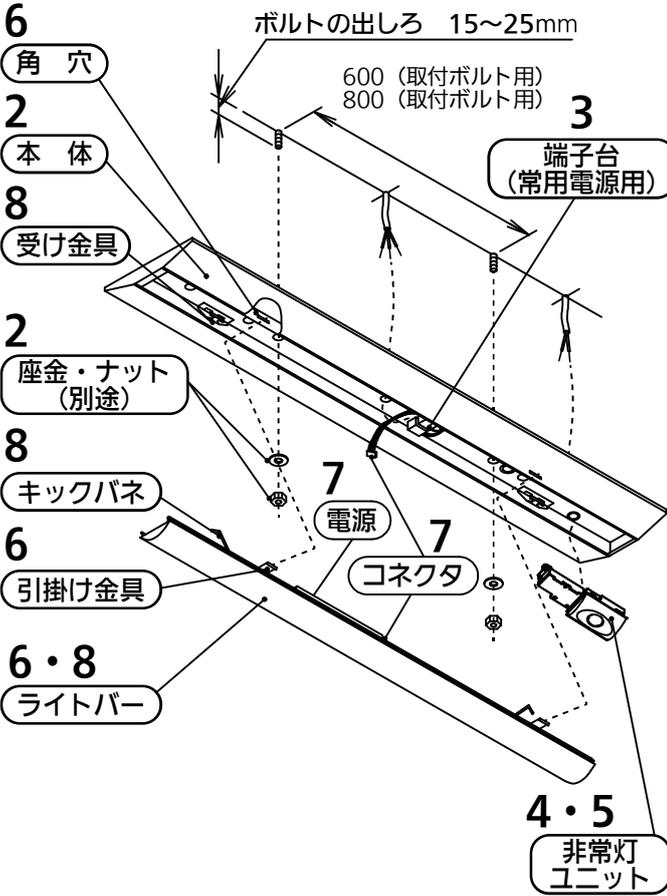
- 電源線接続後、余分な電源線はライトバーとの干渉を防ぐため電源穴へ押し戻すか、電源線をおさえて処理すること。
- 電源穴と端子台の間は曲げずにまっすぐに配線すること。
- 余分な電源線を器具外に戻せない場合、適切な長さに切断すること。
不備があるとライトバーの電源と干渉し電源線損傷による感電・火災の原因となります。

各部のなまえと取り付け方法（つづき）

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
 施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
 ライトバーの取り付け・取り外しは必ず電源を切る。

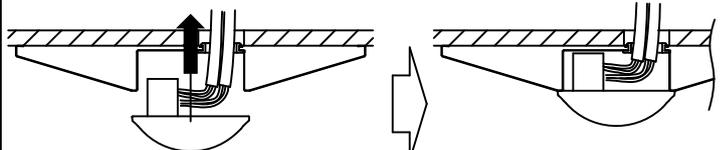
【NNLG48623+ライトバーの例で説明しています。】



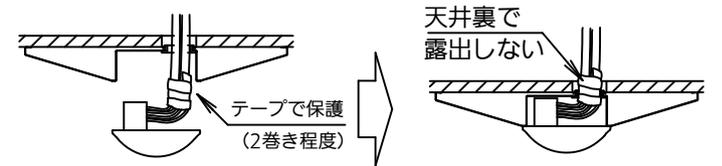
5. 非常灯ユニットの取付

- ・非常灯ユニットを本体にセットし、取付ネジを確実に締める。
 (取付ネジ推奨トルク値：1.0N・m)
取り付けが不完全な場合、非常灯ユニット落下の原因となります。

①非常灯ユニットを押し上げる。(電線を押し戻す)

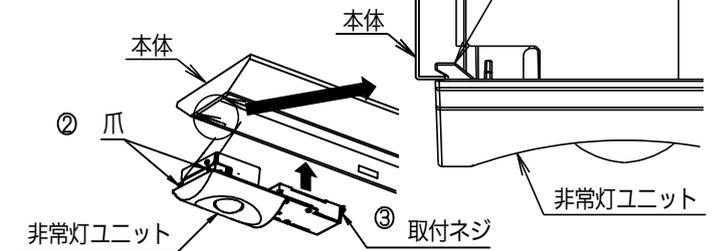


被覆を剥いた部分が長いと取付後に器具外に露出することがあります。
 その場合は絶縁テープ等で保護してください。

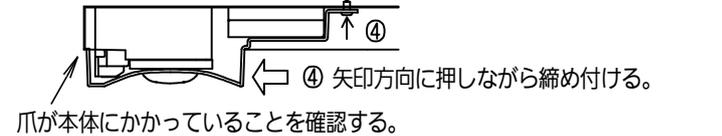


②爪を差し込む。

③取付ネジの位置を合わせる。



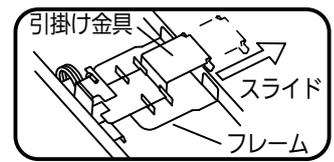
④非常灯ユニットを矢印の方向に押しながら、取付ネジを確実に締め付ける。



爪が本体にかかっていることを確認する。

6. ライトバーの引掛け

- ・ライトバーの引掛け金具をフレームに当たるまでスライドさせ、本体の角穴に片側ずつ確実に引掛ける。
取り付けが不完全な場合、ライトバー落下の原因となります。



7. コネクタの接続

- ・本体とライトバーのコネクタを確実に接続する。
 『カチッ』と音がするまではめ込んでください。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。



8. ライトバーの取り付け

- ・ライトバーのキックパネを本体の受け金具に確実に取り付ける。
 ・電線を挟まないようライトバーを本体内へ押し上げる。
不備があると、ライトバーの落下・感電・火災の原因となります。



■ライトバーを取り外す場合

1. 本体の△マークを目印に、手でライトバーを引き下げる。
 工具でこじ開けると、ライトバー破損の原因となります。
2. キックパネを本体の受け金具から外す。
3. コネクタを外す。
4. ライトバーの引掛け金具を本体から外す。



・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 必ずパナソニック製非常用照明器具本体と非常用照明器具ライトバーの組み合わせで使用する。落下・感電・火災の原因となります。
- 本体、ライトバーを分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- ライトバーのカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
万一、破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。
- ライトバーが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 非常用光源部のレンズはガラス製のため、取り扱いに注意する。破損によるけがの原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- ライトバーを取り外す場合は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

⚠ 注意

- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
 - 照明器具には寿命があります。(※1)
法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などにいたる場合があります。
ライトバーは寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り換え時期の目安です。
使用条件は、周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検を受けてください。
必要な場合は弊社営業所へ申し出てください。(チェックシート番号：CLX2021HA)
点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。
- ライトバーの光源寿命は40,000時間です。

使用上のご注意

- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離して使用してください。
雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線を使用される場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- ・LED素子にはばらつきがあるため、同じ品番のライトバーでも光色・明るさが異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・点灯直後・消灯直後にプラスチックの伸縮によるきしみ音が発生する場合がありますが、故障や異常ではありません。
静かな環境や密集取り付けでご使用の場合、きしみ音が気になる場合があります。
このような場合は直管LEDなどのプラスチック製カバーのないタイプをおすすめします。
- ・点灯させる際に、明るくなるまでの時間や動作がライトバーの品種により異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

保証について

- ・保証について・・・・・・この商品の保証期間は1年間です。ただし、LED電源は3年間です。
詳細は弊社カタログを参照してください。
- ・保証書について・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へ申し出てください。
- ・補修用性能部品の・・・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
保有期間 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

